

4. 留守番機能を使う

応答専用モードを利用する

夜間や休日にかかってきた電話に対し、応答メッセージ「本日の業務は終了しました。恐れ入りますが、改めておかげ直しください。」等を流すことができます。また、最大6種類のメッセージを使い分けることもできます。

応答メッセージを設定する

応答メッセージ「本日の業務は終了しました。恐れ入りますが、改めておかげ直しください。」の代わりに、あらかじめ録音しておいた応答メッセージを流すことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
722-6	-	-

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

■メニュー機能で設定するとき

1 メニューから<応答専用メッセージ>を呼び出す

- ① (○) を押します。
- ② 「**5** システム機能設定」を選択し、(○) を押します。
- ③ 「**6** 応答メッセージ/IVR」を選択し、(○) を押します。
- ④ 「**2** 留守番用メッセージ設定」を選択し、(○) を押します。
- ⑤ 「**2** 応答専用メッセージ」を選択し、(○) を押します。



2 (○) で設定を行うテナントを選択し、(○) を押す



3

(○) で設定を行うメッセージ番号(1~6)を選択し、(○) を押す

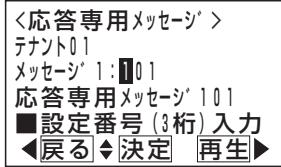
- ・録音済のメッセージは、システム応答メッセージ番号(001~300)と「録音済」、未録音のメッセージはシステム応答メッセージ番号(001~300)と「未録音」を表示します。
固定メッセージ1~3の場合は「固定1~固定3」を表示します。
外部音源が登録されている場合、「外部音源」を表示します。
登録なしの場合は「登録なし」と表示します。
- ・選択したメッセージが録音済の場合、(○) を押す前に(○) を押すと、現在選択中のメッセージを再生することができます。



4

(○) で設定したい番号を選択し、(○) を押す

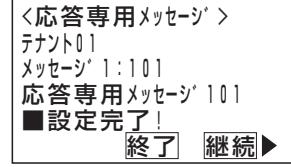
- ・番号を直接入力することもできます。
設定番号とその機能は下記の通りです。
000：登録なし
001~300：システム応答メッセージ001~300
901~903：固定メッセージ1~固定メッセージ3
999：外部音源
- ・設定番号に対応した名称がディスプレイの4行目に表示されます。
- ・選択したメッセージが録音済の場合、(○) を押す前に(○) を押すと、現在選択中のメッセージを再生することができます。



5

設定完了画面が表示される

- ・終了する場合は、(○) を押します。
- ・(○) を押すと操作3に戻り設定を繰り返すことができます。



補足説明

- 応答専用モードのシステム応答メッセージはテナント1つにつき6種類まで設定することができます。

初期設定では、以下の固定メッセージが設定されています。

メッセージ1：「本日の業務は終了しました。恐れ入りますが、改めておかけ直しください。」

メッセージ2：「本日は定休日です。恐れ入りますが、改めておかけ直しください。」

メッセージ3：「ただいま留守にしております。恐れ入りますが、改めておかけ直しください。」

メッセージ4～6は、初期値「登録なし」です。

※システム応答メッセージは、留守録モード（P4-15）および外線お待たせメッセージおよび転送電話の切断処理時の留守録応答メッセージや自動オペレータ（P5-78）や簡易IVR（P5-82）で自動応答時に流す音声案内など、システムで使用する応答メッセージとして使用することができます。重複しないメッセージ番号を使用してください。

- 応答専用モードのシステム応答メッセージの録音は、他のシステム応答メッセージの録音方法と同じです。「応答メッセージなどを録音する」（P7-20）をご覧ください。

ご注意

- メニュー機能で再生を行うとき、全てのボイスメモを使用中の場合は、エラーメッセージが表示されます。

（左）を押すと前の画面に戻り、（右）を押すと終了します。

<応答専用メッセージ' >
再生できません。
(VMU回路空きなし)
戻ってしばらくお待ち
ください。
◀戻る 終了

4. 留守番機能を使う

応答専用モードを利用する

応答専用モードをセットする

夜間や休日につかってきました電話に対し、応答メッセージ「本日の業務は終了しました。恐れ入りますが、改めておかけ直しください。」等を流すことができます。また、最大6種類のメッセージを使い分けることもできます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
401-3	下記*参照	-

*留守切替(981)または夜間切替00(600)～夜間切替48(648)のいずれか、および応答専用(948)、メッセージ1(701)～メッセージ6(706)、メッセージ切替(707)で必要なもの

■プログラマブルキーでセットする

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1

留守切替ボタンを押す

- ・**留守切替**ボタンが点灯します。
- ・現在設定されているモードボタンのランプが点灯します。
- ・現在設定されているモードがディスプレイに表示されます。



2

応答専用ボタン、メッセージ()ボタンの順に押す

- ・**メッセージ()**ボタンは応答メッセージを切り替えたときに押します。
- ・**応答専用**ランプが点灯します。
- ・選択した**メッセージ()**ランプが点灯します。
- ・設定したモードがディスプレイに表示されます。



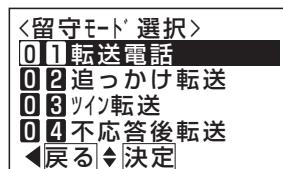
■メニュー機能で応答専用モードに切り替える

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1

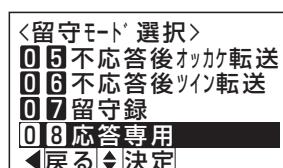
メニューから「留守モード選択」を呼び出す

- ① を押します。
- ② 「**5 汎用機能設定**」を選択し、 を押します。
- ③ 「**5 留守番機能**」を選択し、 を押します。
- ④ 「**1 留守モード選択**」を選択し、 を押します。



2

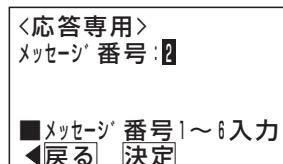
で「**08応答専用**」を選択し、 を押す



3

メッセージ番号(1～6)を入力し、 を押す

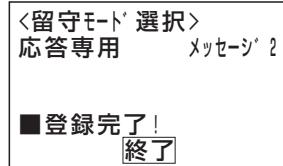
- ・ を押す前は、メッセージ番号の入力をやり直すことができます。



4

登録完了画面が表示される

- ・ を押すと終了します。



補足説明

- [メッセージ1]～[メッセージ6]ボタンやメニュー機能の操作3で指定するメッセージ番号（1～6）と、録音したシステム応答メッセージ（P7-20）との対応は工事者設定が必要です。[工事者設定401-3]

初期設定は下記のとおりです。

- ・ [メッセージ1]…固定メッセージ「本日の業務は終了しました。恐れ入りますが、改めておかげ直しください。」
- ・ [メッセージ2]…固定メッセージ「本日は定休日です。恐れ入りますが、改めておかげ直しください。」
- ・ [メッセージ3]…固定メッセージ「ただいま留守にしております。恐れ入りますが、改めておかげ直しください。」
- ・ [メッセージ4]～[メッセージ6]…設定なし

(設定例)

応答専用モードのメッセージ番号 ([メッセージ()]ボタン／メニュー機能の操作3の指定)	応答専用メッセージの録音先
1	システム応答メッセージ101
2	システム応答メッセージ102
3	システム応答メッセージ103
4	システム応答メッセージ104
5	システム応答メッセージ105
6	システム応答メッセージ106

- 「■プログラマブルキーでセットする」（P4-43）の操作2で、[メッセージ()]ボタンの代わりに[メッセージ切替]ボタンを押して、メッセージ番号を順次切り替えることができます。例えば、現在の設定がメッセージ1の場合、[メッセージ切替]ボタンを押すたびにメッセージ2→メッセージ3→…メッセージ6→メッセージ1の順に切り替わります。この場合、[メッセージ()]ボタンが設定されていると、該当する[メッセージ()]ランプも点灯します。

- 応答メッセージの録音はデータ設定用電話機から行います。⇒P7-20
また、専用の音声ファイル管理アプリケーションを使用して、パソコンから取り込んだ音声ファイルを応答メッセージとして使用することもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

- [留守切替]ボタンの代わりに、[夜間切替()]ボタンを押すこともできます。

ご注意

- メニュー機能で応答専用モードに切り替えるだけでは、応答専用モードをセットできません。[留守切替]ボタンや[夜間切替()]ボタンの操作、またはメニュー機能で留守切替や夜間切替を行ってください。

知っていると便利なこと

- メッセージを流した後、外線を切らずに一般的の着信にすることもできます。[工事者設定401-3]
※電話機に着信させる時間は9～99秒、9秒単位で設定します。
- 電話機に着信させてから、メッセージを流すこともできます。[工事者設定401-3]
※電話機に着信させる時間は6～30秒、3秒単位で設定します。
- リモート操作用の外線の場合、応答メッセージが聞こえている間に[9][9][9][#]を押すと、リモート操作（P7-28）に入ることができます。

補足説明

- 操作2でシステム応答メッセージがすでに録音してある番号を選択した場合、を押すと、現在選択中のメッセージを再生することができます。
- 操作4で「②消去」を選択すると、対象のシステム応答メッセージ名称を消去できます。

ご注意

- 同時に複数の電話機で登録することはできません。他の電話機で使用中のときは下記の表示となります。
を押すと操作1の④に戻り、を押すと終了します。

〈システム応答メッセージ 登録〉

■他の電話機で編集中です!
◀戻る 終了

システム応答メッセージを録音する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(722-6)	-	-

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

■特番を押して録音する

1 ハンドセットをとる

- 内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

2 システム応答メッセージ録音／確認番号③⑦⑨*を押す

- 保留音が聞こえます。
- *番号を可変桁にしている場合は、番号のあとに#を押してください。

3 システム応答メッセージ番号3桁（①①①～③①①）を押す

- 音声案内「録音は1、再生は*（アスタリスク）、消去は0をどうぞ」が流れます。

4 ①を押す

- 「ピー」音が聞こえたら録音開始になりますので、ハンドセットに向かって話します。
録音時間が終了すると、話中音（ツーツーツー）が聞こえます。（1件あたりの最大録音時間は1分です。）

■メニュー機能で録音する

1 メニューから「システム応答メッセージ 登録」を呼び出す

- ① (○) を押します。
- ② 「5 システム機能設定」を選択し、(○) を押します。
- ③ 「6 応答メッセージ /IVR」を選択し、(○) を押します。
- ④ 「1 システム応答メッセージ 登録」を選択し、(○) を押します。

〈システム応答メッセージ 登録〉
NO. 005
■項番直接入力可
◀戻る ◆決定

2 新規録音時は (○) を押す

- ・メッセージを録音していないシステム応答メッセージ番号が表示されます。
- ・登録済みの番号を変更するときは、番号(001~300)を直接入力するか (○) で選択してください。
- ・すでに登録済みの場合は、登録してある名称が表示されます。

〈システム応答メッセージ 登録〉
NO. 005
■項番直接入力可
◀戻る ◆決定

3 (○) で「2メッセージ録音」を選択し、(○) を押す

〈システム応答メッセージ 登録〉
1 名称登録
2 メッセージ録音
◀戻る ◆決定

4 〈システム応答メッセージ録音〉の機能選択画面となるので、(○) で「1録音」を選択し、(○) を押す

〈システム応答メッセージ 録音〉
1 録音
2 消去
◀戻る ◆決定

5 ハンドセットを上げて録音開始音「ピー」を待つ

〈システム応答メッセージ 録音〉
NO. 005 録音
留守録応答メッセージ 005
■ハンドセットを上げ、
ピーの後に録音開始
◀戻る

6 録音開始音「ピー」が聞こえたら録音を開始し、録音を完了したら、1秒程度時間をあけてから (○) を押してハンドセットを置く

- ・ (○) を押さずにハンドセットを置いても録音完了となります。
- ・ 録音時間に空きがなく(1件あたりの最大録音時間は初期値1分、またはボイスメモ全体の録音時間に空きがなくなったとき)なっても、録音完了となります。

〈システム応答メッセージ 録音〉
NO. 005 録音
留守録応答メッセージ 005
■完了時: 完了を押す
完了

7 録音完了画面が表示される

- ・終了する場合は、(○) を押します。
- ・ (○) を押すと操作2に戻り、操作を繰り返すことができます。

〈システム応答メッセージ 録音〉
NO. 005 録音
留守録応答メッセージ 005
■録音完了!
終了 繼続▶

■特番を押して録音内容を確認する

1 ハンドセットをとる

- 内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

2 システム応答メッセージ録音／確認番号③⑦⑨*を押す

- 保留音が聞こえます。

*番号を可変桁にしている場合は、番号のあとに#[#]を押してください。

3 システム応答メッセージ番号3桁（①①①～③①①）を押す

- 音声案内「録音は1、再生は＊（アスタリスク）、消去は0をどうぞ」が流れます。

4 (*)を押す

- 保留音が止まり、メッセージがハンドセットから聞こえます。（2回繰り返し）
- 終了すると、話中音（ツーツー…）が聞こえます。

■メニュー機能で録音内容を確認する

1 メニューから<システム応答メッセージ登録>を呼び出す

① (*)を押します。

② 「**5 汎用機能設定**」を選択し、(*)を押します。

③ 「**6 応答メッセージ/IVR**」を選択し、(*)を押します。

④ 「**1 システム応答メッセージ登録**」を選択し、(*)を押します。

<システム応答メッセージ 登録>
NO. 006

■項番直接入力可
◀戻る ◆決定▶

2

で再生を行うシステム応答メッセージ番号（001～300）を選択し、(*)を押す

- 番号（001～300）を直接入力することもできます。
- すでに録音済みの場合は、ディスプレイの6行目に「再生」が表示されます。
- すでに名称登録済みの場合は、登録してある名称が表示されます。

3

メッセージが2回再生される

<システム応答メッセージ 登録>
NO. 005 再生
留守録応答メッセージ 005

◀戻る

4

再生完了画面が表示される

<システム応答メッセージ 登録>
NO. 005 再生
留守録応答メッセージ 005

■再生完了!
終了 繼続▶

■録音したメッセージを使う

ボイスメモに録音したメッセージは下記の用途で使用します。

- 外線お待たせメッセージ*
 - ダイレクトインダイヤル（DID）の一次応答メッセージ*
 - 留守番機能（留守録モード）の応答メッセージ*
 - 留守番機能（応答専用モード）の応答メッセージ*
 - 留守番機能（発信者選択モード）の応答メッセージ*
 - 留守番機能（転送電話）の転送／切断メッセージ*
 - 不在転送（外線への転送）の転送／切断メッセージ*
 - 非通知着信拒否の送出メッセージ*
 - 発番号識別着信拒否の送出メッセージ*
 - センサ着信時の送出メッセージ*
 - センサ着信に応答時の送出メッセージ*
 - 外線お待たせメッセージの切断メッセージ*
 - 外線保留音／着信音
 - リモコン操作時の設定完了アラウンド*
 - 圏外トーキー*
 - ACD着信のお待たせメッセージと切断メッセージ*
 - 自動オペレータの応答メッセージ*
 - 簡易IVRの応答メッセージ*
 - 通話録音アラウンド*
 - チャイムタイマの音源
- *固定メッセージを使用することもできます。

補足説明

- メッセージ一つあたりの最大録音時間は1分（初期値）で、変更することも可能です。[工事者設定722-6]
- 特番を押して録音内容を確認するときは、スピーカから聞くこともできます。操作1でハンドセットをとる代わりに[内線]ボタンか[スピーカ]ボタンを押してください。
- 「■特番を押して録音する」(P7-21) または「■特番を押して録音内容を確認する」(P7-23) の操作4で[○]をダイヤルすると、対象のシステム応答メッセージの録音内容が消去され、音声案内「メッセージを消去しました」が聞こえます。その後、話中音（ツーツーツー）が聞こえます。
- 「■メニュー機能で録音する」(P7-22) の操作4で「**2 消去**」を選択すると、対象のシステム応答メッセージの録音内容を消去できます。

ご注意

- 録音後は、録音内容を確認してください。
- 留守番機能の留守録モードで使う[メッセージ()]ボタンと使用するシステム応答メッセージとの対応は、メニュー機能で設定できます。詳細はP4-15をご覧ください。
- 留守番機能の応答専用モード (P4-43)、発信者選択モード (P4-48) で使う[メッセージ()]ボタンと使用するシステム応答メッセージとの対応は、工事者設定が必要です。[工事者設定401-3、401-4]
- メッセージの録音や再生、消去をするときに次のエラー画面が表示されることがあります。

<システム応答メッセージ 録音>
録音できません。
(VMU回路空きなし)
戻ってしばらくお待ち
ください。
◀戻る 終了

<システム応答メッセージ 登録>
再生できません。
(VMU回路空きなし)
戻ってしばらくお待ち
ください。
◀戻る 終了

<応答メッセージ 録音消去>
消去できません。
(VMU回路空きなし)
戻ってしばらくお待ち
ください。
◀戻る 終了

ボイスメモを全回線使用している状態です。○を押して前の画面に戻り、しばらく待ってから録音／再生／消去してください。

<システム応答メッセージ 録音>
録音できません。
(録音時間/件数が一杯
またはメッセージ 使用中)
◀戻る 終了

ボイスメモに空き容量がない状態です。不要なメッセージを消去して録音してください。

<システム応答メッセージ 録音>
録音できません。
(内線回路空きなし)
戻ってしばらくお待ち
ください。
◀戻る 終了

<システム応答メッセージ 登録>
再生できません。
(内線回路空きなし)
戻ってしばらくお待ち
ください。
◀戻る 終了

内線通話回路に空きがない状態です。○を押して前の画面に戻り、しばらく待ってから録音／再生してください。

<応答メッセージ 録音消去>
消去できません。
(メッセージ使用中)
戻ってしばらくお待ち
ください。
◀戻る 終了

メッセージを使用中です。○を押して前の画面に戻り、しばらく待ってから消去してください。